

イベント・行事

仲間との絆を深める、
思い出の「林大生」生活の1ページ。

4月	1年生 屋久島研修
5月～11月	公開講座
4月～11月	県民共学講座
6月	2年生 国内(北海道)研修
7月	1年生 御嶽登山(樹木学実習)
7月	水無神社例大祭(みこしまくり)
7月	オープンキャンパス
8月	オープンキャンパス
10月	寮祭(木望祭)
10月	木曾町駅伝大会
10月	ハスクバーナトップガン研修
11月	三林大対抗伐木選手権大会
2月	雪灯りの散歩路

(平常時)



2年生国内研修(北海道:知床峠)



1年生 屋久島研修



そば打ち体験(体験研修)



2年生山の環境学(上高地)

寮生活・クラブ活動

大自然と、そしてかけがえのない仲間達と24時間を共にする充実の2年間。
「林業大学校に来て良かった」と
卒業生が口を揃えるのは、「楽しい寮生活」!!

本校では、学生全員が入寮し、自主的運営による共同生活体験を通じて、有能な社会人となるための人間形成を図ります。また、地域・地元のイベントにも積極的に参加しています。



スキー教室



雪灯りの散歩路



木曾子ども園との交流



インターナショナルスクール交流

林大生活



令和6年度 2年生
大坪 連
(45期生)

私は小さいころから自然が大好きで、よく自然の中で遊ぶことが多くありました。林業に興味を持ったのは高校2年生の時、進路を考え始めたときでした。学校に来ていた求人を見たとき、将来自然の中で働きたいと思っていた私にぴったりな林業という職種を見つけました。色々インターネットで林業について動画などを見ていると自分もこの仕事がしたい!と思いました。しかし私が通っていた高校は普通科だったので林業のこと全く知りませんでした。そこで林業を一から学べる長野県林業大学校があることを知りました。私が長野県林業大学校を選んだ理由は林業に関する資格や免許を多く取得できることや、様々な実習を通して林業に関して幅広く学ぶことができるからです。またこの学校では、ハスクバーナ・ゼノア

株式会社と連携協定を結んでおり、チェーンソーに関して手厚いサポートがあり、日本でもトップクラスのチェーンソー技術を習得することも魅力の一つでもあります。

林業大学校では、全寮制のため先輩と後輩が四六時中共に生活を送ります。普段の生活、寮祭などの学校行事や地域での活動を通して家族の様な存在になっています。その中でも先輩後輩の関りや礼儀、仲間との協調性を大切にしており、人として成長することができ、社会に出てからなかなか体験することができない大切な経験になる良い機会だと思っています。

ぜひ、林業大学校で、林業の専門的な知識や高い技術を学び、たくさんの仲間との楽しい学生生活を送ってください。

林大とわたし



令和元年度 卒業生
一柳 きくの
(緑屋樹木医事務所)

現在、私は埼玉県でアーボリストとして仕事をしています。アーボリストとは、あまり聞き馴染みのない職業です。この職業はツリークライミングという特殊な方法を用いて、木に登り剪定や伐採を行います。樹木を根本から伐採し倒すことが出来ない街の中での仕事がほとんどで、山林に入って作業を行う林業とはまた違う魅力があります。

私がこの仕事を選んだ理由は、林大在学時に感じた「この業界と自分はどのようにして向き合っていきたいのか」ということからでした。山林に入って作業を行うという魅力はもちろん、山から持ち出された木材がどのように流通し、加工されて消費者の元へ行くのかといった

いわゆる川上から川下までの一環した魅力を目の当たりにして学べたことが大きなきっかけとなりました。

また、寮に入って寝食を共にした仲間たちは、林大を卒業して5年経った現在でも連絡を取り合うようなかけがえのない存在です。仕事は違えど、彼らの話を聞くと自分では経験できない話も多くとても刺激をもらいます。

今の私があるのも寮生と林大で過ごした有意義な時間があつたからだと思っています。

樹木・森林に携わる仕事は思っている以上にたくさんあります。その中で自分が「コレだ」と思うことができる仕事や環境が必ずあると思いますので、是非素晴らしい環境の林大で自分らしさを突き詰めてください。

他校との交流事業

岐阜県立森林文化アカデミー、京都府立林業大学校及び信州大学と協定を締結し、交流を図っています。



三林大対抗伐木選手権大会



ハスクバーナトップガン研修

研修の場を広く社会にも求めています!



三林大交流ウォークラリー (木曽町山村代官屋敷)



ようこそ先輩 (特別講座)



上松技術専門学校での交流授業 (木材利用コース)